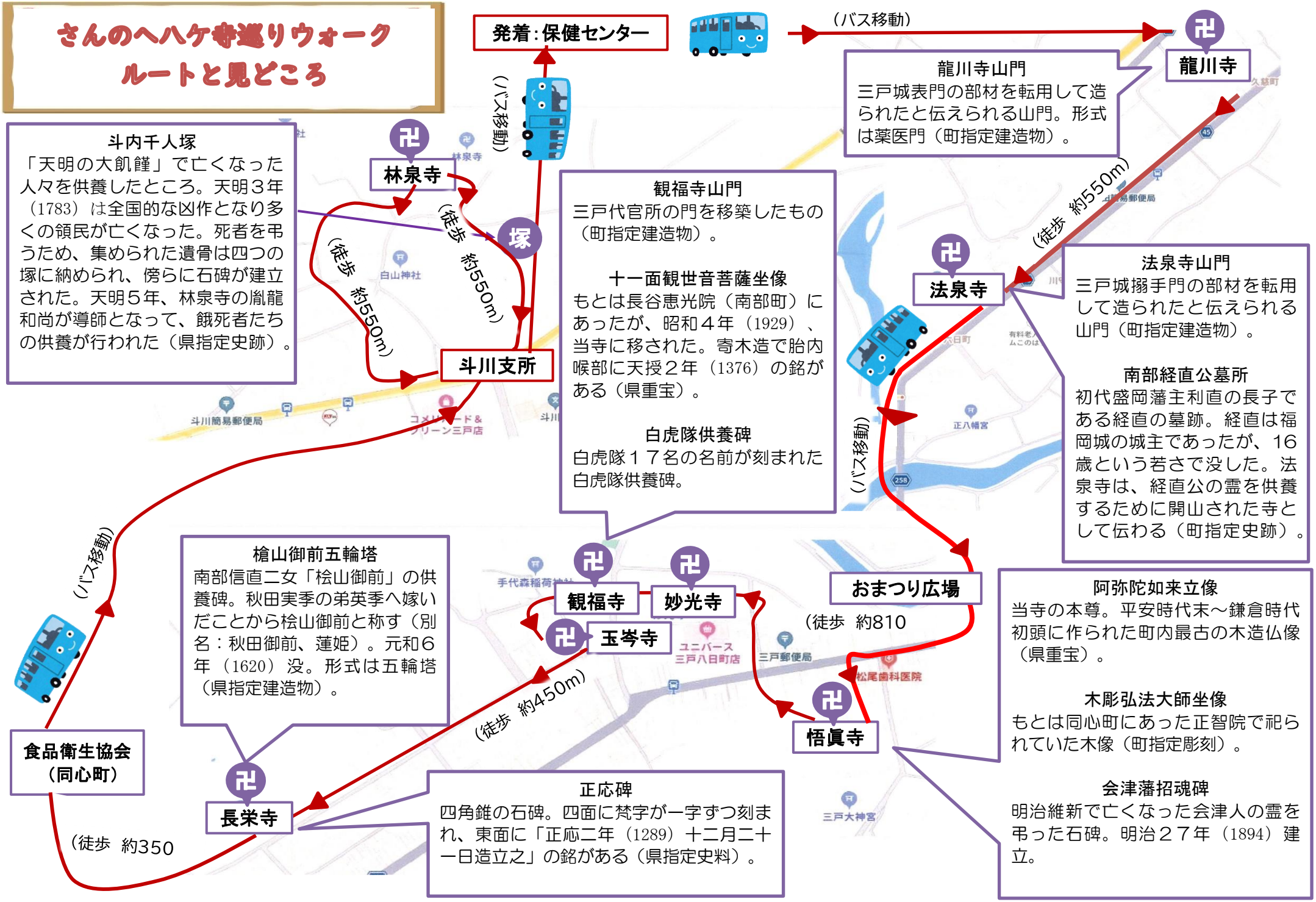
さんのへハケ寺巡りウォーク ルートと見どころ



斗内千人塚
「天明の大飢饉」で亡くなった人々を供養したところ。天明３年（1783）は全国的な凶作となり多くの領民が亡くなった。死者を弔うため、集められた遺骨は四つの塚に納められ、傍らに石碑が建立された。天明５年、林泉寺の胤龍和尚が導師となって、餓死者たちの供養が行われた（県指定史跡）。

龍川寺山門
三戸城表門の部材を転用して造られたと伝えられる山門。形式は薬医門（町指定建造物）。

観福寺山門
三戸代官所の門を移築したもの（町指定建造物）。

十一面観世音菩薩坐像
もとは長谷恵光院（南部町）にあったが、昭和４年（1929）、当寺に移された。寄木造で胎内喉部に天授２年（1376）の銘がある（県重宝）。

白虎隊供養碑
白虎隊１７名の名前が刻まれた白虎隊供養碑。

法泉寺山門
三戸城搦手門の部材を転用して造られたと伝えられる山門（町指定建造物）。

南部経直公墓所
初代盛岡藩主利直の長子である経直の墓跡。経直は福岡城の城主であったが、16歳という若さで没した。法泉寺は、経直公の霊を供養するために開山された寺として伝わる（町指定史跡）。

槍山御前五輪塔
南部信直二女「桧山御前」の供養碑。秋田実季の弟英季へ嫁いだことから桧山御前と称す（別名：秋田御前、蓮姫）。元和６年（1620）没。形式は五輪塔（県指定建造物）。

阿弥陀如来立像
当寺の本尊。平安時代末～鎌倉時代初頭に作られた町内最古の木造仏像（県重宝）。

木彫弘法大師坐像
もとは同心町にあった正智院で祀られていた木像（町指定彫刻）。

会津藩招魂碑
明治維新で亡くなった会津人の霊を弔った石碑。明治２７年（1894）建立。

正応碑
四角錐の石碑。四面に梵字が一字ずつ刻まれ、東面に「正応二年（1289）十二月二十一日造立之」の銘がある（県指定史料）。